

平成 23 年度 一般会計決算

214 億円は何に使われたのか！

平成 23 年度の注目事業！！

- 堅倉小学校校舎改築工事
- 小川北中学校校舎改築工事
- 元気再生プレミアム商品券発行事業補助金
- 「空の駅」整備事業
- かしてつ跡地バス専用道路整備事業
- 広域幹線道路整備事業
- 合併特例推進事業
- 災害復旧事業耐震化
- 防災対策事業
- 災害見舞金事業



小川北中学校 新校舎 (平成 24 年 10 月 30 日使用開始)

平成 23 年度決算 全 10 会計総額

歳入 351 億 2,586 万円、歳出 331 億 7,934 万円



平成 24 年第 3 回定例会は、9 月 6 日から 25 日までの 20 日間の会期で開かれ、今定例会では、平成 23 年度決算認定を含む 39 件の議案等について審議しました。また、9 月 11 日、12 日には、9 人の議員が一般質問に立ち、市政を質しました。

9 月定例会 日程

日程	会議等の主な内容	傍聴
6 日	本会議 (開会、議案上程、質疑、討論、採決)	6 名
11 日	本会議 (一般質問)	5 名
12 日	本会議 (一般質問、質疑、委員会付託)	10 名
13 日	総務常任委員会	-
18 日	産業建設常任委員会	-
19 日	産業建設常任委員会	-
20 日	文教福祉常任委員会	-
21 日	文教福祉常任委員会	-
24 日	議会広報特別委員会 新市建設計画推進特別委員会	-
25 日	議会運営委員会 本会議 (報告、質疑、討論、採決、閉会)	5 名

▲ 決算審査は常任委員会ごとに行った (文教福祉常任委員会)

平成 23 年度 全会計決算を認定！

会計別		歳入	歳出	内容	
一般会計		230億7,993	214億5,100	歳入@ 42万9千円（前年比 24,904円・6.2%↑） 歳出@ 39万9千円（前年比 13,418円・3.5%↑）	
特別会計	国民健康保険	（事業勘定）	58億7,671	57億5,425	加入世帯 8,939、被保険者 17,866 人、保険税@ 86,317 円 医療費@ 252,658 円、特定検診受診率 32.3%
		（白河診療所）	1億9,264	1億7,001	診療件数 9,944 件（前年比 229 件↓）
	後期高齢者医療保険	3億4,687	3億4,501	保険料@ 38,390 円、医療費@ 602,271 円	
	介護保険	（事業）	28億3,832	27億8,615	月平均被保険者 970 人、月平均要介護認定者 129 人（認定率 13.2%）
		（サービス）	470	337	保険料@ 41,751 円、給付費@ 184 万 6 千円 高齢化率 22.1%（前年比 2.8%↑）
	下水道	18億6,487	18億845	処理区域 100.41ha、普及率 37.2%（前年比 3.9%↑）	
	農業集落排水	8億3,652	7億8,087	処理区域 317ha、普及率 6.4%（前年比 1.5%↓）	
	戸別浄化槽	7,023	6,802	29 基を設置（5 人槽 21 基、7 人槽 7 基、10 人槽 1 基）	
霊園	1,505	1,216	36 区画の新規利用申込		
企業会計	病院	収益的収支	2億6,961	2億1,188	外来患者数 49,887 人（前年比 2,465 ↑） 入院患者数 14,050 人（前年比 848 ↑）
		資本的収支	2,923	8,468	病床利用率 48.0%（前年比 6.2%↑）
	水道	収益的収支	7億5,661	6億5,589	給水件数 14,319 件、給水人口 42,050 人（普及率 94.4%） 総配水量 453 万 m ³ （前年比 33,328 m ³ ↓）、有収率 82.3%
		資本的収支	4億5,700	6億8,014	1 日平均配水量 12,383 m ³ 、施設利用率 74.2%

（単位：万円） * @マークは市民 1 人当たりの額を表しています。

市財政の健全度チェック！ 市が抱える借金・将来負担は？

実質公債費比率 **9.5%**

将来負担比率 **113.8%**

「今、返済している借金は？」

「将来負担していく借金は？」

項目	小美玉市		平均	早期健全化基準
	比率	順位		
H23	9.5%	34位	10.4%	25% (18%)*
H22	11.5%	27位	11.1%	
H21	13.5%	16位	12.0%	

項目	小美玉市		平均	早期健全化基準
	比率	順位		
H23	113.8%	8位	63.6%	350%
H22	118.6%	6位	73.7%	
H21	122.5%	9位	86.6%	

* 順位・平均は、県内 44 市町村との比較および県内の平均。順位は上位ほど悪く下位ほど良い。

◇市財政の何を診断？

1 年間に自由に使える収入のうち、どれくらい借金の返済に充てたのかを見る比率です。この過去 3 年（平成 21～23 年度）の平均値になります。この数値が高いということは、国や県等に頼らず、市独自で事業等を実施するための自由な財源が少ないことを意味します。

* 早期健全化基準が 18% に達した場合は、新たな借金をする際に許可を要するなど一部制限となる。

◇市財政の何を診断？

1 年間に自由に使える収入に対して、市の負担となる借金などが、その何倍に及んでいるのかを見る比率です。借金が将来にわたり財政に与えていく影響の大きさが分かります。

これを家計に例えると、借金（連帯保証人として潜在的な債務も含む）が、年収の何倍に相当しているのかといった感じになります。（113.8% は、家計に例えると年収の約 1.14 倍）